「愛知目標（2011-2020）」に関わるブラザーグループの対応

2024年3月31日現在

「愛知目標（2011-2020）」は、2050年までに人類が自然と共生する世界を実現することを目指し、「第10回生物多様性条約締約国会議（COP10）」で合意された、世界目標です。
20の個別項目が、2011年から2020年までの短期目標として設定されています。
2015年3月に、ブラザー工業株式会社が会員企業として参画している日本の電機・電子4団体*の生物多様性ワーキンググループにおいて、業界との関連性が高く、積極的に推進することでより大きな貢献が期待できる8項目を抽出した「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」が公表されました。
ブラザーグループではこの指針に沿って、さまざまな取り組みを続けています。

「愛知目標（2011-2020）」・「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」とブラザーグループの活動状況

愛知目標（2011-2020）	SDGs	電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針	ブラザーグループの活動状況
目標1：普及啓発 人々が生物多様性の価値と行動を認識する		生物多様性を保全することの重要性が広く認知されるように、従業員への生物多様性に関する教育を積極的に推進する。 また、取り組み状況の情報発信やステークホルダーとの連携を通して、社会の意識向上に貢献する。	・グループ環境方針を受け、別途生物多様性の基本方針を定めて全従業員に周知 ・エコポイント活動やクリック募金活動を推進し、従業員やその家族、お客様の環境配慮行動を促すとともに生物多様性に関わる活動などの機会を提供し、環境意識の向上と拡大に寄与 ・ブラザーグループ全社の活動を活性化するため、2021 年度から世界海洋デーに賛同し、全拠点の全従業員を対象にした「海ごみゼロ活動」を開始。2023 年度はグループ全体の約 6 割（約 22,000 人）の従業員が家族や友人とともに参加し、活気ある活動を展開
目標4：持続可能な生産と消費 すべての関係者が持続可能な生産・消費のための計画を実施する		・持続可能な生産及び消費の実現に向け、各ライフサイクルステージにおいて、自社の生産活動やサプライチェーンも含めて以下の活動を積極的に推進する。 ・低炭素社会実行計画に則した取り組みの推進 ・生産プロセスにおける CO_2 排出抑制の継続的取り組み ・低炭素社会の実現に資する製品・サービスの供給 ・環境自主行動計画(循環型社会形成編)に則した取り組みの推進	・開発段階から製品の小型軽量化や回収・リサイクルに配慮した省資源化を推進 ・電子回路の省エネ性能向上や省エネ機能の実装などにより CO_2 排出量の削減を行い、温暖化防止を推進 ・事業所ごとに ISO 14001 を導入し、省エネや省資源、化学物質管理、廃棄物、節水、汚染防止など、全従業員による環境保全活動を展開し、生態系への影響を軽減

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

		・廃棄物最終処分量の削減 ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動 ・直接的に生物多様性保全に資する取り組みの推進 ・生物多様性に配慮した原材料調達など	・事業所における再エネ導入や電力・燃料などエネルギー使用の効率化、温暖化係数の小さい物質への代替など、CO_2 排出量の削減、温暖化防止に努めて気候変動や生態系への影響を軽減
目標 5：生息地の破壊の抑止 森林を含む自然生息地の損失が少なくとも半減、劣化・分断が顕著に減少する		生息地の保護ならびにその劣化と分断を低減するために、生物多様性に配慮した事業所の緑地管理や社会貢献活動、周辺地域における生態系ネットワークの構築などを積極的に推進する。	・ブラザー工業は「ブラザーの森　郡上」における環境保全活動の一環として絶滅危惧種のギフチョウ、ウラギンスジヒョウモンの生育地を保護 ・ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.は、地域の植物や野生生物の多様性保全に努め、在来種を植栽 ・内モンゴルの砂漠化を防止して緑化するプロジェクトに取り組み、砂漠に強い「スナ棗(なつめ)」や乾燥に強い「ソウソウ」の苗を植樹 ・ブラザーインターナショナル(メキシコ)S.A.deC.V.は、「ソチミルコ」修復プログラムに参加し、メキシコサンショウウオの生息地を保護
目標 8：化学物質などによる汚染の抑制 化学物質・肥料・農薬の汚染を有害でない範囲まで抑える		生態系や生物多様性にとって有害な汚染を防止するため、グローバル視点で化学物質の適正管理に努め、生態系への悪影響を積極的に抑制する。	・製品原材料の調達段階において、積極的なグリーン調達を推進し、環境に影響を及ぼす化学物質を回避するとともに生物多様性に配慮した原材料を調達 ・生産拠点の活動において、重油ボイラーの廃止や触媒燃焼装置による汚染物質の分解、高度な排水処理装置の導入など、環境負荷の低減を行い、大気や水質、土壌などの汚染による生態系への影響を軽減
目標 9：外来種 侵略的な外来種を制御し、または、根絶する		侵略的外来種による影響を防除するため、主に製品の輸送時や事業所の緑地管理、社会貢献活動などにおいて、侵略的外来種の駆除や侵入の防止、ならびに意識啓発を積極的に推進する。	・台弟工業股份有限公司では、繁殖力の旺盛な外来種による危害を防ぐため、ツルヒヨドリ(キク科、つる性の一年草)の駆除活動と環境教育を実施 ・ブラザー工業は「ブラザーの森　郡上」で実施する生物多様性保全活動において、外来種であるツルニチニチソウ、オオハンゴンソウなどの駆除活動を実施
目標 11：保護地域の保全 少なくとも陸域の 17%、海域の 10%を保護地域などにより保全する	 	生物多様性にとって重要な保護地域の面積拡大のため、社有地や事業所における保護地域に資する生物多様性に配慮した緑地管理や、社外の保護地域における保全活動を積極的に推進する。	・ブラザー工業は公益財団法人　世界自然保護基金ジャパン（以下、WWF ジャパン）とパートナーシップを結び、WWF ジャパンが行う森林保全活動への寄付を通じて生物多様性保全に貢献 ・ブラザー工業は生物多様性に関する世界目標である 30by30 への貢献に向けて「ブラザーの森　郡上」での自然共生サイト認定を取得

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

			・アマゾン川流域において、ペルー共和国などの中南米の熱帯雨林保全や絶滅が危惧される野生動物の生息地保護活動を支援 ・タイで地元のマングローブ林の保護と再生を支援し、苗木を植樹。マングローブが成長するにつれ、より多くの種類の鳥と水生動物が生息
目標 14：生態系サービス 自然の恵みをもたらす生態系が回復・保全される		生態系サービスが持続可能な形で利用できるように、生態系の保全・回復活動を積極的に推進する。	・三重ブラザー精機株式会社では、敷地内の調査に基づき、多様な生態系を育む豊かな森の形成を目指し、外来種の除去と在来種の保護育成などを実施 ・スロバキアで、激しい嵐によって 300 万本以上の木々が失われたタトラ山脈の森林再生活動を実施
目標 19：知識・技術の向上と普及 関連する知識・科学技術を改善する		生物多様性に関する知識、科学的基盤、及び技術の向上を目指し、情報通信技術を使ったモニタリング技術の開発と普及、生物多様性モニタリングによるデータ蓄積などを積極的に推進する。	・エコポイント活動を活用し、岐阜県郡上市のスキー場跡地に「コナラ」、「ミズナラ」など在来種の落葉樹や市の花「タムシバ」などを植樹。この活動による生態系への影響調査を実施し、生態系回復における植樹活動のあり方について検討し活動に反映

*： 電機・電子4団体とは、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会です。

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.